

M&Aスキーム構築 エクステンド・SCCM 融資で承継先と取引継続

事業承継・事業再生
コンサルティングを手
掛けるエクステンド
と、事業承継ファンド
を運営するSYNCI

Over Capital Management (SCCM)は、地域金融機関との事業承継・M&A（合併・買収）支援スキームを構築した。10月に大垣共立銀行との第1号案件が成約し、取り組みを拡大していく。

同スキームは、事業再生支援で多数の地域金融機関と連携するエクステンドが、後継者不在の企業、金融機関、SCCMの仲介役と進行的サポートを担う。SCCMは、金融機関からファンドや特別目的会社（SPC）を通じて資金調達し、オーナーから株式を買い取り事業承継する。

企業の後継者不在の課題を解決し、買い手のSCCMに融資や投資をするため、取引の継続・拡大を図ることができる。また、オーナーは、SCCMに再投資するスキームのため、大口投資家として今後の企業経営に関与することができる。

エクステンドの沖原厚則代表取締役は「地域金融機関やオーナーは事業承継後も企業の行く末を見ることができ、地域の雇用や経済の維持にもつながる」としている。SCCMの四方一郎代表取締役は「オーナー企業はトップありきの経営が多い。それを役員主体の経営に切り替えることで企業価値を高め、次の後継者も見つけやすくなる」と狙いを語った。